

## 創造工学部キックオフイベント開催 地域企業と共に「未来の当たり前」をデザインするワークショップ

平成30年2月9日(金)、香川大学幸町キャンパスにおいて、創造工学部キックオフイベント「未来の当たり前」をデザインするイノベーション人材育成」を開催しました。

これは、平成30年4月1日に新設される「創造工学部」を広く知っていただくとともに、地域と共にイノベーション人材を育成する気運を高めることを目的として開催したものです。日本におけるイノベーション教育の先駆者である i.school エグゼクティブ・ディレクター堀井秀之先生(東京大学大学院教授)を講師にお招きし、地域企業の方々と共に学ぶ講演会とワークショップを行い、約120名の方々が参加しました。

午前の部では、OLIVE SQUARE 2階多目的ホールにおいて、講演会を実施しました。

冒頭、算学長が「人間中心」の考え方のもとイノベーション人材を育成していきたい。また、香川大学は「地域の知の拠点」として、本日のイベントのように人と人とをつ

なが役割も担っていきたい。」と挨拶し、本イベントの開催を宣言しました。

続いて、4月から創造工学部長に就任予定の長谷川工学部長と、同じく4月から創造工学部教員に就任予定の佛圓教授から、創造工学部の概要や同学部で取り組むデザイン思考教育の紹介が行われました。その後、堀井先生から、i.schoolでの取り組みと実績を基に、イノベーション人材の育成についてのご講演をいただき、午前の部を終了しました。

午後の部では、図書館内のラーニングコモンズに移動し、堀井先生による「『未来の当たり前』を考えるワークショップ」を実施しました。参加者は6名ずつのグループに分かれ、東京大学が開発したAPISNOTEという電子付箋のウェブシステムを用いてアイデアを出し合い、積極的に議論を交わっていました。真剣な議論の中でも笑顔が多く見られ、アイデア発想について考える刺激的な場となりました。



創造工学部の紹介をする長谷川工学部長



デザイン思考教育の紹介をする佛圓教授



ユニークなアイデアを引き出す堀井先生

## わくわくコンサート“Sing Swing Strings Swiss”ースイスに集う芸術家たちー

わくわくコンサートは、一般の音楽会に参加することが難しい子どもと保護者、支援の必要な方などを対象とした音楽鑑賞会です。音楽鑑賞の機会を提供するとともに、支援の必要な方もそうでない方も共に集うことのできる市民の共生の場の提供を目指しています。今回で第11回目となるわくわくコンサート。昨年に続き、「第6回サントリー&ウィーンフィル音楽復興祈念賞」を受賞することができました。当日は、小さなお子さまから大人の方まで立ち見ができるほど多くのお客さまにご来場いただきました。

今年はテーマ“Sing Swing Strings Swiss”ースイスに集う芸術家たちー、テーマ国：スイス、テーマアルバム：Sで、スイスに関する様々なプログラムでの演奏とロビーでのイベント、展示を行いました。ご来場の皆さまにスイスの雰囲気を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。毎年

恒例の楽器体験も大人気で、興味津々で展示されている楽器を見たり実際に吹いてみたりする様子であふれました。特にアルペンホルンの体験には長蛇の列ができました。たくさんのお客さまの笑顔を見ることができて、実行委員やボランティアは大きな喜びを感じるとともに来年への意欲がわいてきました。来年度も実行委員を中心にたくさんのお客さまや地域の方々に関わっていただきながら、楽しいわくわくコンサートをつくりあげていきたいと思ひます。

教育学部4年山口莉穂(第10回副実行委員長第11回実行委員会本部(コンシェルジュ))



いた。つか。

語尾につける言葉で「〜ください」という意味です。東讃地域では「いた」、西讃地域では「つか」が使われています。例えば「来ていた!・来てつか!」と言え「来てください」という意味になります。以前ご紹介した「来まい!」もお誘いするようなニュアンスを含んだ「来てください!」の意味で使われていますが、「来ていた!・来てつか!」の方はお願いの意味が強い方です。

発行：香川大学広報室  
soumkot@jim.aokagawa-u.ac.jp

香川大学ホームページ  
https://www.kagawa-u.ac.jp/



## 理事閑話

### 連携のシーズ

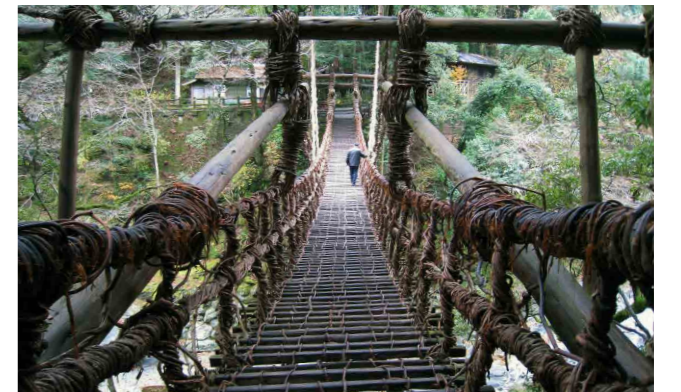
皆さん、こんにちは。昨年10月から理事・副学長になりました。どうぞよろしくお願いいたします。今は、もっぱら屋内用務の日々ですが、これまで農学部でキウイフルーツなどの果樹の品種改良に携わり、自生資源の探索のため全国の山間地を巡ってきました。折角の機会なので、ここで関連する話題を一つご紹介したいと思います。

皆さんは、徳島の代表的な観光地「祖谷のかずら橋」をご存じかと思ひます。平家の落人が、追っ手を逃れて隠れ住んだ深山の渓谷にかかる吊り橋です。この吊り橋は、現地に自生する蔓を編んで架けたもので、追っ手が迫ると切り落として侵入を阻んだと伝えられています。

現地で「シラクチカズラ」と呼ばれる吊り橋の材料となる蔓植物は、じつは標準和名を「サルナシ」という、冷涼地に自生するキウイフルーツの仲間です。今や「かずら橋」は、重要な観光資源の一つとなりましたが、3年毎の架け替えに必要な「シラクチカズラ」の蔓が不足しつつあるとのこと。

これまで現地でも蔓の増殖が試みられてきましたが、自然環境に戻してうまく根付かせることは、なかなか難しいようです。この度、縁あって、国有林を管轄する四国森林管理局・徳島森林管理署と三好市、香川大学農学部の三者で協定を締結し、「シラ

香川大学理事・副学長 片岡郁雄



クチカズラ」の苗の繁殖や蔓・果実の活用に協力して取り組むことになりました。太い蔓に成長して「かずら橋」の材料として使えるようになるまでには、長い年月を要することから、世代を越えた息の長い取り組みになりそうです。

「シラクチカズラ」のような、地域連携に繋がるシーズ(種子)は、思いがけないところに埋まっています。皆さんの足元にも、きっとありますよ。



## 香大サークル紹介



### アカペラサークル えいおん

ハモネプでおなじみのアカペラをそれぞれがチームを組んで活動しています。J-pop やアニメソング、洋楽などジャンルは様々です。学祭やライブだけでなく、地域のイベントに参加して歌うこともあります♪Twitter でライブ・イベント情報を発信しています。皆さん気軽にフォローしてください。

@acapellasing

■活動場所：  
北7号館ピアノ棟、415 教室前など



### 競技ダンス部のわーる

より上手く、より美しく、何より楽しく！を目標に競技ダンスの練習をしています。中四国大会などの大会にも出場し、自分たちの力試しをしながら他大学の学生との交流もしています。大学行事では主に新歓祭・学祭に参加し、ステージでのパフォーマンス披露をしています。部員間の交流を深めるための食事会も数回開催。大学で何か新しいことを始めたい、自分を変えてみたいと思っているその貴方！ぜひ競技ダンスをしてみませんか？初心者大歓迎！ ■活動場所：OLIVE SQUARE



### 医学部 国際交流会

国際交流会は国際交流に関する活動全般を行うサークルで、活動内容は多岐に渡ります。タイやブルネイ、中国からの留学生とタコ焼きパーティーをしたり、市内観光やお買い物を手伝ったりして交流します。他にも海外留学経験者が多いため、これから海外に留学する人への助言を行ったりもしています。英語が苦手でも大丈夫です。海外にたくさんの友達を作りましょう！

■活動場所：医学部会館、学外